



株式会社 **アルプス出版**

〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目15番18号
オフィスサンナゴヤ 6F

TEL 052-931-1009 FAX 052-932-1312

http://www.alpspublishing.co.jp/

企画・制作：株式会社 新聞ビル

あかしん

わが町、わが店、この道一筋。出会いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

元氣のでてくる“ことばたち” 148

村上信夫

(アナウンサー)



Nobuo Murakami

でスタミナがなかった。
1回目のプロテストは不合格だった。「それがかえってよかった。ボクシングにより真剣に向き合うきっかけになった」と振り返る。つきあっていた遊び友達とも決別、家を引き越し、

ジムも変えた。
91年12月14日。プロデビュー戦は、初

とのタイトルマッチ。壮絶な打ち合いの末、はじめてのKO負けを喫した。これは伝説の試合として、語り継がれている。1度で諦める選手が多い中で、4度のチャレンジは異例中の異例だ。リングで苦しい闘いを続けている最中、家庭で、アクシデントが続いた。2002年、最初に授かった長女は、死産。夢結(ゆい)と名付けた。悲劇はなおも続く。2004年、長男が、2万分の1の確率と言われる子宮

■村上信夫プロフィール

NHKエグゼクティブアナウンサー

1953年、京都生まれ。

明治学院大学卒業後、

1977年、NHK入局。

富山、山口、名古屋、東京、大阪に勤務。

現在は、『ラジオビタミン』担当。(ラジオ第一 8:30～11:50)

これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。

教育や育児に関する問題に関心を持ち続け、横浜市で父親たちの社会活動グループ『おやじの腕まくり』を結成。

趣味は、将棋。
著書に『元氣のでてくることばたち!』(近代文芸社)

『おやじの腕まくり』(JULA出版局)『いのちの対話(共著)』(集英社)『いのちとユーモア(共著)』(集英社)

明日からではダメ。

いま頑張らないと

元プロボクサー 坂本博之さん

元プロボクサーの坂本博之さんは、世界王座に4回チャレンジした。世界チャンピオンにはなれなかったが、打たれても打たれても前に出るファイターで、強烈なパンチ力から平成のKOキングと呼ばれた。多くの人の記憶に残るボクサーだ。リング上では、多くのノックアウトをした坂本さんだが、人生の上では、強烈なパンチを何度も浴びた。ノックアウト寸前から、その都度立ち上がってきた。

これでもかこれでもかの試練

幼いころ児童養護施設にいた経験がある。

1970年12月30日、福岡県生まれ。物心つく前に両親が離婚し、母と1歳下の弟と暮らしていた。母が東京へ働きに出たため、知人の家に預けられたが、そこで虐待を受けた。いたたまれず、小学2年で、児童養護施設に保護を受けた。そこで、人のぬくもりを感じた。強きが弱きを守る世界だった。

その施設のテレビで、ボクシングを初めて見て強い憧れをいだいた。そちらの世界に行きたい!と痛切に思った。その後、母に引き取られ、東京へ行った。高校を卒業して、アルバイトで生活費を稼ぎながら、ボクシングジムへ通った。パンチは強かったが、不摂生な生活

回KO勝ちしてからは、ほとんど拍子の活躍を見せた。93年には、全日本新人王。そして、93年12月13日。12戦12勝(10KO)の戦績で、日本ライト級王座に挑戦し、見事日本チャンピオンに輝いた。23歳の時だった。

96年には、東洋太平洋ライト級のチャンピオンになった。硬軟自在の技巧でポイントを重ねる華麗なボクシングに背を向け、KOするか、されるか、打たれても前に出るファイターが信条。昭和のKOキング、藤猛になぞらえて、平成のKOキングと呼ばれた。

そして、97年から2000年まで、4度世界王座に挑戦した。

初めの2回は判定負け。3度目は初回に2度のダウンを奪ったが、目の上を切り惜しくもTKO負け。4回目は日本人同士、畑山(はたけやま)隆則選手

破裂で、生まれてすぐ亡くなった。京之郎(きょうしろう)と名づけた。何も手がつかない。その後半年、一切ボクシングを絶った。「神様がケンカを売ってくるなら、とことんケンカしていい」と思った。

気を取り直すのに時間がかかったが

「人は死んでも語り続けられ、心の中に生きている」と思い直し、亡くなった二人の子どもたちに手を合わせ、毎日声に出して語り続けることにした。

子どものためにも、もう一度チャンピオンを目指そうと練習を再開した。2006年1月、椎間板ヘルニアの手術も受け、KOで勝利し、3年7ヶ月ぶりの勝利を得た。腰痛と闘いながらも現役を続行したが、ついに、2007年1月に引退した。

「大歓声の中、すべてやりきった勝利者としてリングを降りられた」と思った。リングを降りるとき、施設の子どもたち、応援してくれたファン、ジムのトレーナーやスタッフの愛が支えてくれたことを痛感した。幼い頃入っていた児童養護施設の子どもたちから贈られた手作りのチャンピオンベルトは、宝物だ。リングを降りた翌年、娘の明沙音(あさね)さんを授かった。彼女は、希望だ。坂本さんは、運命を信じない。「絶望は、必ず希望に変わる」と信じている。

「光」で心を青空に

いじめや虐待の撲滅を訴え、「こころの青空基金」を設立して、全国の児童養護施設を回って交流を続けている。全国には580近い施設があり、そこに3万人を超える子どもたちがいる。その6割が幼児虐待を受けている。少子化なのに施設も収容される子どもたちも増えていく。いじめや虐待を根絶し、負の連鎖を断ち切るために、恵まれない環境から社会に出る若者たちの手助けをしたいと考えている。

施設の子どもたちは感情を表現する方法を知らない。虐待を受けた子は人を信用しない。喜びや悲しみや怒りを

ぶつけてほしい。閉ざされた心の鍵をあけるきっかけになればと、子どもたちに、自分のミットを力いっぱい殴らせる。「熱を伝えれば必ず熱が帰ってくる」という信念がある。今までに40の施設を回ったが、全国すべての施設を回りたいたいと思っている。

去年8月、施設からボクサーを目指す若者たちに道を開くため、東京・日暮里にボクシングジムを設立した。8月8日、末広がりの日を意識してオープンした。

鹿児島から児童養護施設を出た2人の若者が坂本さんの指導を受けようと上京してきた。そのうち1人が、先月、プロデビューを果たした。

人間には「光」と「影」の部分があるが、「光」を最大限引き出したい。それは、大人の役割だ。どんなことがあってもあきらめてはいけない。たとえ、ノックアウトされても立ち上がれる力が人間にはある。自分の人生がそうであってだけに、この言葉に迫力がある。「明日から頑張ろうではダメなんだ。今、頑張らないと」。

村上信夫 ことばのビタミン

好評発売中



■イネ・セイミプロフィール

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中

とき 常滑屋
月一回 第二・第四金曜日
午後一時～三時
会費 一回 二二五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五六九(三五)〇四七〇

大人でも上達する!
おとなのフルート教室
入会受付中!!

何か始めたいと思ってる貴女。数年後素人にフルートを奏でる姿がそこにあります。楽しく個人レッスン致します♪

講師 イネ・セイミ
(フルート奏者 指導歴30年)
1レッスン・1時間5,000円(チャイム代付)
申込み 0569-89-7127
お問合せ scimline@oasis.ocn.ne.jp



俳画／イネ・セイミ

杉本武之

誠意をこめて安心のお手伝い
 年中無休・24時間体制

 (有)大阪屋葬祭

常滑ホール / 鬼崎ホール / 阿久比ホール

TEL<0569>**35-4949** (代表)
 FAX 35-4911

さくらの花びらの模様に染めま
す 材料費 一枚三百円
▼いろあそび「草木染 うこ
く・二十日」午前九時〜午後
四時半 内容 うこんを使って
染めます 材料費 一枚四百円
その他 三十枚限定
●ギヤラー 共栄齋
▼泉田の也展・十一日(金・祝)
〜二十日(土)
浅井景子展 二十六日(土)〜
三月八日(火)
●ギヤラー Cera
(常滑市観光プラザ)
▼人形屋宗太展 十八日(金)
〜十八日(月)
●常滑屋
▼常滑屋企画 和のリゾート
「椿」の器あしらひ・十三日
(日)
▼澤田酒造 「梅酒 白老梅お
しじき」の秘密展・十五日(火)
〜十五日(土)
▼加藤真美器展・二十二日
(火)〜二十七日(日)
●陶芸サロン陶美園
▼第三回春よぶとどりで展・
二十七日(日)
●ギヤラー セビカ
(まるふく内)
▼灯りをつめましょーばんぼり

わが家のニューフェイス



田中 海帆(2ヶ月) 冨空(1才8ヶ月) 半田市瑞穂町

写 真 ・ 文	も	パ	ヤ	る	ー	デ	一	し
	よ	マ	ん	の	ン	し	ッ	た
	ろ	マ	と	〇	ッ	て	上	〇
	し	マ	た	早	マ	く	の	今
	く	お	さ	く	マ	れ	お	は
	ね	姉	ん	大	に	た	姉	ま
		ち	遊	き	リ	ち	や	だ
		ゃ	び	な	泣	ん	が	寝
		ん	た	っ	く	ば	頭	て
		こ	い	る	と	か	り	ば
田中		れ	な	し	エ	も	ナ	け
		か	あ	お	ン	テ	け	ど
理恵		ら	パ	ち	れ	エ	ナ	



は	い	め	ま	し	て	〇	田	中
海帆	で	す	〇	12	月	2	日	
に	元	気	い	ッ	は	い	の	産
声	を	上	げ	て	ほ	ま	れ	ま
寝	て	ば	か	り	だ	け	ど	

愛と My Family



中山 碧(10ヶ月) みな美(2才) 常滑市字夏敷

写 真 ・ 文	く	な	く	〇	ヤ	弟	に	〇
	毎	り	ら	ご	ん	の	入	ブ
	日	ま	い	は	レ	碧	り	ラ
	を	し	た	ん	一	は	ぐ	ン
	過	た	〇	も	緒	い	コ	ヤ
	ご	し	〇	お	に	ッ	よ	
	し	て	人	姉	遊	そ	く	す
	い	ま	食	ち	ぶ	ニ	公	遊
中山	す	す	べ	ゃ	の	コ	園	ぶ
			ら	ん	が	ニ	に	の
			れ	に	大	コ	行	み
			る	負	好	〇	き	な
			よう	け	き	お	ぐ	す
			に	な	ぐ	姉	す	〇
				い	す	ち	〇	歳
							気	と
								碧



中	山	み	な	み	上	歳	と	碧
10	ヶ	月	で	す	〇	お	姉	ち
の	の	み	な	美	は	外	で	
遊	ぶ	の	が	大	好	き	ぐ	す
す	〇	す	〇	す	〇	す	〇	す

良寛と杉本武之さんと私

ちたろまん『慈愛の人良寛』に寄稿の2005年7月から昨年5月までの59回分の原稿をもとに加筆した杉本武之著『慈愛の人 良寛』の出版記念パーティーが1月16日(日)正午からJホテルりんくうで行われた。常滑、武豊、碧南、西尾などから教育関係者や友人ら約80名が小雪の降る中を駆けつけた。

「片時も笑顔を絶やさない人」。杉本さんを一言で紹介する時に私がよく使っている言葉だ。それは、このちたろまんから生まれた『慈愛の人 良寛』が書籍化されてからも変わることではない。いつも、何事にも笑顔なのだ。

杉本さんが江戸時代後期の曹洞宗の僧侶、歌人、漢詩人、書家でもある良寛を意識したのは京大生の頃だった。良寛が晩年、弟子の貞心尼に「途な恋心を募らせたように、それに似た思いを杉本さんも良寛に寄せたのだろう。」

本の制作の過程で「やっぱり、杉本さんは良寛に憧れている」と思わせるエピソードが幾つかあった。暑い夏の昼食は冷たいご飯に冷たいお茶をかけて、自家製の梅干をのせて頂く。これが最高に美味しいんだよと、話す。これを聞いたとき、無欲恬淡な杉本版良寛さんだ!!と思ったことを覚えていた。また、パーティーの準備をしていたときのこと



だった。著者に筆ペンでサインを入れ、そして落款も入れて欲しいとお願ひすると、「良寛は落款を持ってなかった」といい、作業を進めていた。杉本さんの教諭時代は良寛がお手本だったという。良寛は子供たちと遊ぶことが大好きで、子供たちとはかくれんぼや手毬をついて、よく遊んだといわれているように、教諭時代の杉本さんも夢中で遊ぶ小学3年生の担任を希望し、子供たちを真剣に教えるとともに楽しく遊んだ。



パーティー数日前の杉本さんという、「最初で最後の晴れ舞台」、「スーツを新調しなくてはいいかなあ」、「自身の著書を眺めては満足!満足!」と、実に楽しそうだった。パーティーも終盤に入ると、「今度は3ヵ月後の増刷パーティーをしよう」と、言ってきた。

人と人とのつながりが希薄といわれる昨今だからこそ、良寛の生き様や姿勢を知ってほしいと、杉本さんはいう。「じゃ、この本は私への指南書でもありますね」という私に、「そうだよ」と笑顔で返ってきた。杉本さんと話していると、それまで経験してきた日常とは全く違う世界を知って、世界観ががらりと変わってしまうこともあるけれど、何だか素直に温かい気持ちになれる。今後は宮沢賢治と比較していきたいと執筆に意欲を示している。

著者の杉本さんは、一人でも多くの人に読んでもらいたいと願っている。良寛さんの生き方や考え方を少しでも知れば、それだけで気持ちが落ち着くし、生きることが楽になります。この本が、多くの方に良寛さんの生き方と芸術を知るきっかけになってくれれば幸いです」と語ってくれた。
※定価は税込みで2,100円。あかい新聞店で取扱っています。

(赤井 伸衣)